

(2) 重点整備地区の選定

重点整備地区の要件や市内のまちづくりの状況等をふまえ、「JR・近鉄郡山駅周辺地区」を重点整備地区として選定します。

重点整備地区：「JR・近鉄郡山駅周辺地区」

要件1：生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われている地区

<選定理由>

1) 市内でも乗降客数が多い2駅を含む中心市街地

近鉄郡山駅は市内で最も乗降客数が多い駅であり、JR郡山駅も3番目に多い駅です。この2駅を含む地区が大和郡山市の中心市街地を形成しています。

2) 交通結節点

駅近くにはバスターミナルがあり、路線バスやコミュニティバスも発着し、公共交通の結節点となっています。

3) 公共施設や歴史・文化施設が集積

駅周辺には、市民が多く利用する市役所、図書館、ホール等の公共施設や、郡山城跡を中心とする歴史・文化施設が集積しており、来訪者も多いことが想定されます。

要件2：生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化事業が特に必要な地区

<選定理由>

1) 住民意向

平成18年11月に実施された住民アンケート調査^(※)では、安心して歩ける歩道や歩行者空間の整備・充実を図ることが望まれています。また、今後のまちづくりについては、子どもからお年寄りまでが安全に安心して暮らし続けられることが望まれています。

2) 地区の課題

平成19年2月に実施された住民懇話会^(※)では幅員が狭く、歩道もない道路が多いという安全性の問題や、幹線道路の未整備区間もあり観光客にとってわかりにくい道路となっているという指摘がありました。平成21年2月に実施された住民懇話会^(※)では、道路整備の重要性や案内標識の整備ができていないことが指摘されました。

(※：大和郡山市都市計画マスタープラン検討時に実施)

要件3：バリアフリー化の事業を重点的・一体的に行うことが総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区

<選定理由>

1) 都市核としての位置づけ

大和郡山市都市計画マスタープランでは、都市核として位置づけられています。また、高次の商業・業務や各種サービス機能を担うセンターゾーンとして、基盤整備と連動した土地の高度利用を促進し、にぎわいと交流あふれる拠点づくりを進めることとしています。

2) 中心市街地のまちづくり

商店街の活性化やにぎわいの創出だけでなく、居住者にとって生活利便施設の整った住みやすいまちとなっていることから、今後も子どもから高齢者まで安全に安心して、快適に暮らしていける地区、住みたくなる、住み続けたい地区をめざしています。

3-2 地区の特性

(1) 地区の現況

- ・ 近鉄郡山駅、JR郡山駅周辺には商業・業務機能が集積し、市の中心的な市街地を形成しています。
- ・ 郡山城周辺には旧城下町の歴史的なまちなみが残っていますが、道路が狭く、木造建築物が密集しているところが多くなっています。
- ・ 地区内にある郡山城跡は公園として整備されており、風致地区に指定されています。また、お城の外堀を活かした、「外堀緑地」が整備されています。
- ・ 地区のほとんどが市街化区域となっており、中心市街地周辺においても、住宅地等が形成され、既に市街化が進んでいます。

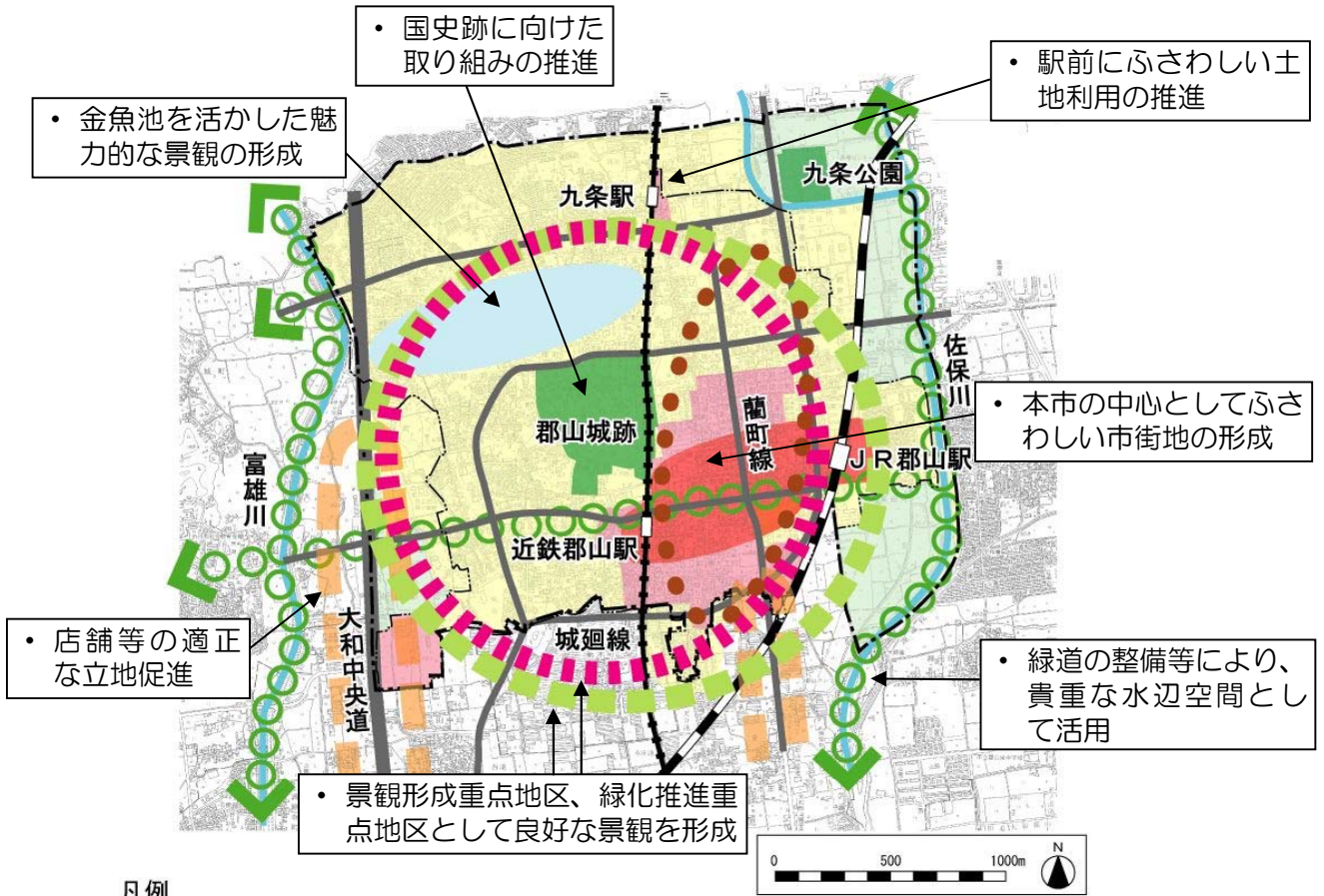


撮影：平成 22 年 5 月（大和郡山市）

(2) 関連計画・事業

1) 地域別構想

「大和郡山市都市計画マスタープラン」では「北地区」として位置づけられ、「大和郡山市の中心にふさわしい風格あるまちづくり」を将来像として、まちづくりの目標や方針が設定されています。



凡例

景観形成重点地区		良好な景観形成を図る地区
緑化推進重点地区		重点的な緑化を図る地区
歴史的街並み地区		歴史的街並み地区
水と緑の連携軸		河川等を活かしたネットワークの形成を図る軸
住宅ゾーン		良好な住環境の形成を図るゾーン
農業・集落ゾーン		集落環境の形成を図るゾーン
公園・緑地ゾーン		計画的な公園・緑地の形成を図るゾーン
センターゾーン		市の中心として商業・集客等の機能集積を図るゾーン
商業サービスゾーン		商業系施設の立地誘導を図るゾーン
沿道複合ゾーン		施設立地の適正な指導・誘導を図るゾーン
金魚池ゾーン		金魚池を保全するゾーン
河川		
道路		広域幹線道路、地域幹線道路、地域内道路
鉄道		JR、近鉄線
市街化区域		

出典：大和郡山市都市計画マスタープラン

図 3-1 「北地区」の整備方針

2) 重点地区（中心市街地）のまちづくり

中心市街地（近鉄郡山駅～JR郡山駅周辺）は、歴史的・文化的資源や商業・業務系の土地利用が集積し、大和郡山市の中心的な市街地と位置づけられます。そのため、都市計画マスタープランでは、特に重要な地区（重点地区）として、まちづくりのあり方の具体的な検討が行われました。

■中心市街地のまちづくりの方向性

商店街が元気で、多くの住民や観光客でにぎわう、歴史が生きる快適中心市街地

① 住み良さ、まちなぎわいの向上

- ・道路空間の整備（まちなぎわいを高める、安心して歩け、歩いて楽しいまちづくり/まちなみ環境整備）等

② 歴史的資源の保全・再生・活用

- ・郡山城の活用（例：国史跡への取り組み、城内各設備の整備ほか）
- ・歴史資源にマッチしたまちなみ景観整備（歩いて楽しいまちづくり）

③ 道路環境の向上

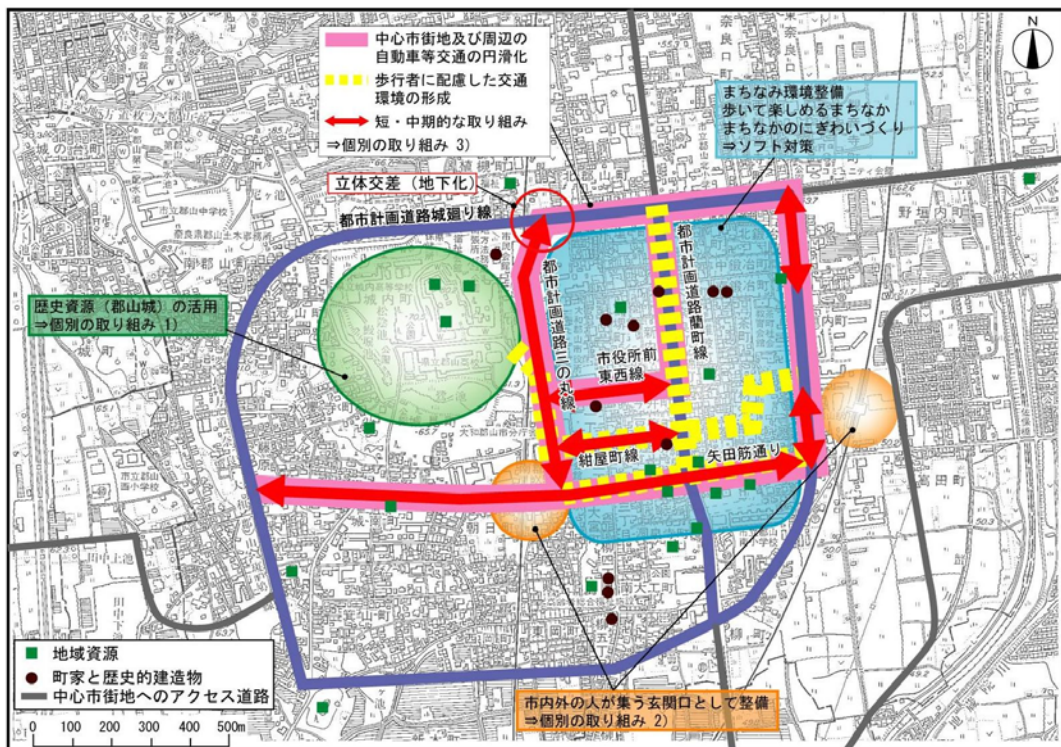
- ・道路空間の整備（中心市街地及び周辺の自動車交通の円滑化、公共交通との連携、居住者も観光客も安心して安全に歩けるまちづくり）

④ 公共交通の利便性向上

- ・市の玄関口としての整備（例：近鉄郡山駅周辺整備の検討、まちなか回遊バスの導入検討）

⑤ 市民協働のまちづくりの実践

- ・市民・地域主体の取り組み（商店街との連携ほか、各種ソフト事業）



出典：大和郡山市都市計画マスタープラン

図 3-2 取り組みイメージ

3) 城廻り線の整備計画

都市計画道路城廻り線は、大和郡山市の市街地部を環状にネットワークする道路です。城下町特有の、狭く一方通行の道が多い旧市街地の交通事情等を考慮し、市街地の車両侵入防止等、全体的な道路ネットワークに基づき設計されました。

① 奈良県

藪町線との交差点（北郡山交差点）から枚方大和郡山線との交差点までの間の約900mを計画区間として、本線を地下化する事業計画が進められています。この整備により、近鉄橿原線による踏切渋滞の解消が図られ、地上部では歩道が広がり、歩きやすい道路になります。

② 大和郡山市

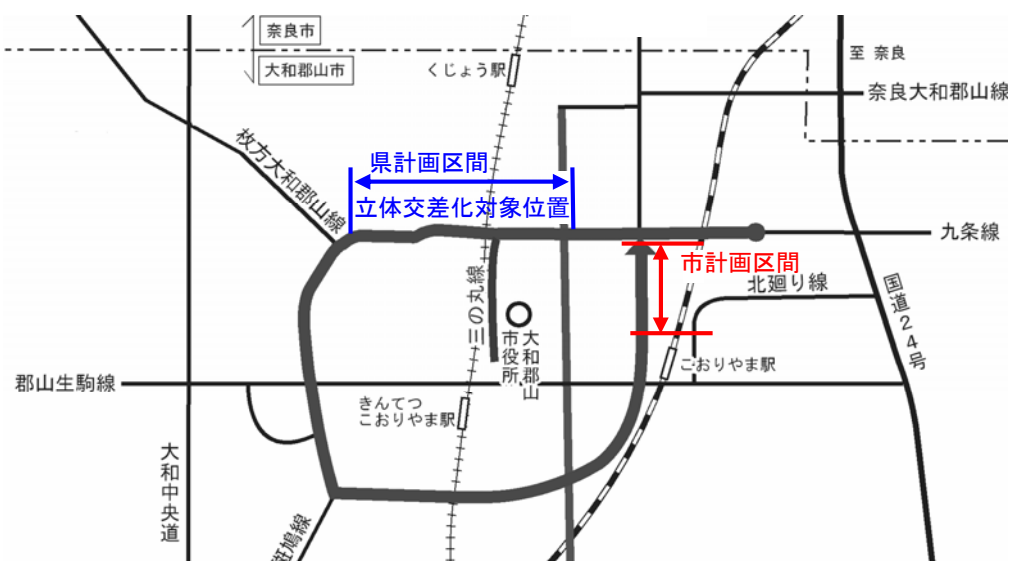
市北部からJR郡山駅へのアクセス道として、また駅周辺のまちづくりの一環として整備を進めていきます。これにより安全な避難路の形成、延焼防止機能の確保、また緊急輸送道路として、防災機能の向上も期待できます。

【奈良県計画区間の整備概要】

- ①規格と設計速度：第4種第2級 V=40km/h
- ②車線数と車線運用：2車線
 - ◇通過交通は、地下利用。（踏切は立体交差）
 - ◇沿道等に入出入りする交通は、側道利用。（踏切は平面交差）
- ③幅員構成
 - ◇本線：車道幅員（3.0m）・路肩幅員（0.5m）
 - ◇側道：全幅5.0m（車道3.0m、路肩1.5・0.5m）
 - ◇歩道：北側（2.5m：車椅子同士がすれ違うことが出来る幅員を確保）
南側（3.5m：自転車歩行者道）

【大和郡山市計画区間の整備概要】

- ①規格と設計速度：第4種第1級 V=50km/h
- ②車線数と車線運用：4車線
- ③幅員構成
 - ◇本線：車道幅員（3.25m）・路肩幅員（0.5m）
 - ◇歩道（両側）：自転車歩行者道（4.0m）



(3) 地区内のバリアフリーに関する主な課題や問題点

1) 調査の実施

基本構想の検討への参加機会の創出と、意見を幅広く基本構想へ反映するために各種調査を実施しました。

表 3-1 基本構想の検討に伴い実施した調査一覧

調査内容	目的	実施概要
アンケート調査	住民の移動全般のバリアフリーに対する意識やニーズの全体的な傾向を定量的に把握するために実施。	実施期間： 10月末～11月11日頃 調査規模：無作為550部 高齢者団体50部 結果：169部回収(回収率：28%)
ヒアリング調査	アンケート調査やワークショップでは十分な意見を言うことが困難な障害者を対象に、移動時に感じる問題や課題についての詳細な意見を収集するために実施。	実施日：9月7～9日 実施団体：手をつなぐ育成会、肢体不自由児・者父母の会、視覚障害者協会、聴覚障害者協会
ワークショップ	JR・近鉄郡山駅周辺にどのようなバリアがあるのか、障害者、住民、高齢者等と共に意見交換をしながら、詳細な意見を幅広く収集するために実施。	実施日：10月27日(木) 場所：市役所4階・会議室 方法：グループで意見交換 参加人数：市民等22名
駅利用者 ヒアリング調査	基本構想の趣旨が、駅から駅周辺の施設への移動円滑化であることをふまえ、駅利用者の意識や移動特性を把握するために実施。	実施日：11月8日(火) 場所：近鉄・JR郡山駅 方法：対面式聞き取り調査 結果：59部を回収
タウン ウォッチング	移動の円滑化を図っていく施設や経路を中心に現地点検を行い、具体的な整備検討のための基礎資料とするために実施。	実施日：12月2日(金) 方法：3グループ程度にわかれて、重点整備地区内の経路や施設等を現地調査 参加人数：32名
子育て世代への 調査	移動弱者でもある子育て世代(未就学児の保護者)の移動等のバリアを収集するために実施。	実施日：12月22日(木) 方法：子育てグループに意見を記入する調査票を配布。91部配布し、48部回収。

2) アンケート調査の結果概要

〈鉄道駅〉

- ・ 全般的に鉄道駅の評価は高い傾向にありますが、近鉄郡山駅の評価がやや低い傾向でした。
- ・ 改善要望では、「トイレ」や「案内設備」が高い傾向でした。

■ 駅の移動円滑化に対する評価

JR 郡山駅

64.1%が「大変満足している」・「満足している」と回答しており満足度は高いです。

近鉄郡山駅

43.1%が「満足している」、29.2%が「あまり満足していない」・「まったく満足していない」と回答しています。

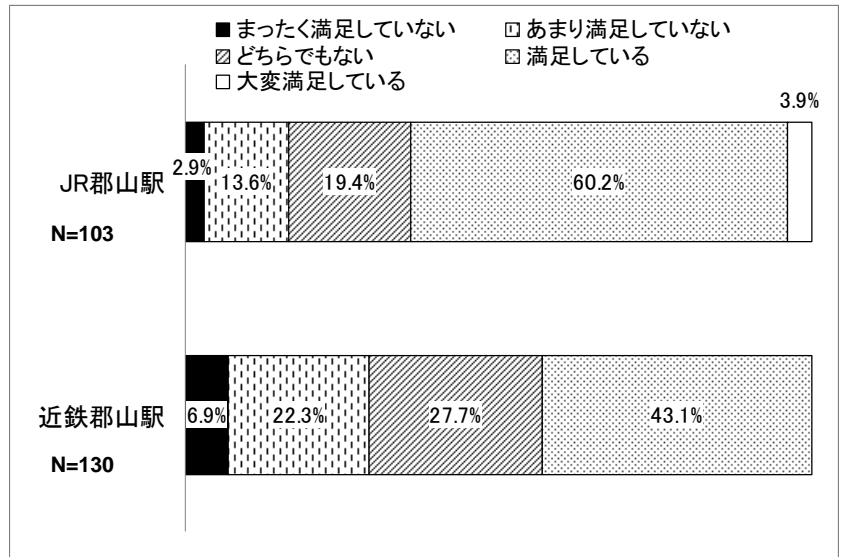


図 3-3 駅の移動円滑化に対する評価

■ 駅の改善要望

JR 郡山駅

41.8%が「特にない」と回答していますが、次いで「トイレ」・「案内設備」が21.4%と多くなっています。

近鉄郡山駅

「トイレ」の改善要望が39.0%と最も高くなっています。

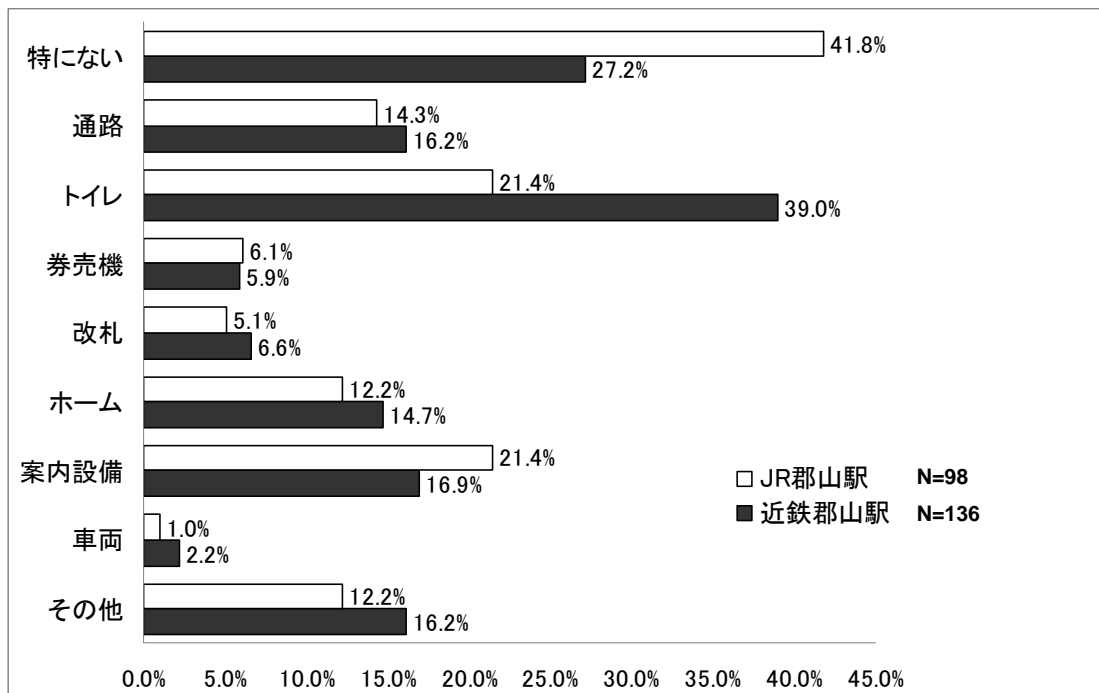


図 3-4 駅の改善要望

〈バス〉

- ・ バス利用時に改善してほしい項目は、「バス停施設の利便性」が53.7%と最も多く、次いで「バス車両の乗りやすさ」48.4%、「運行情報の案内」33.7%と続きました。
- ・ 地区内の主なバス停のうち、最もバリアフリー化の要望が高いバス停は、「近鉄郡山駅（バスターミナル）」でした。

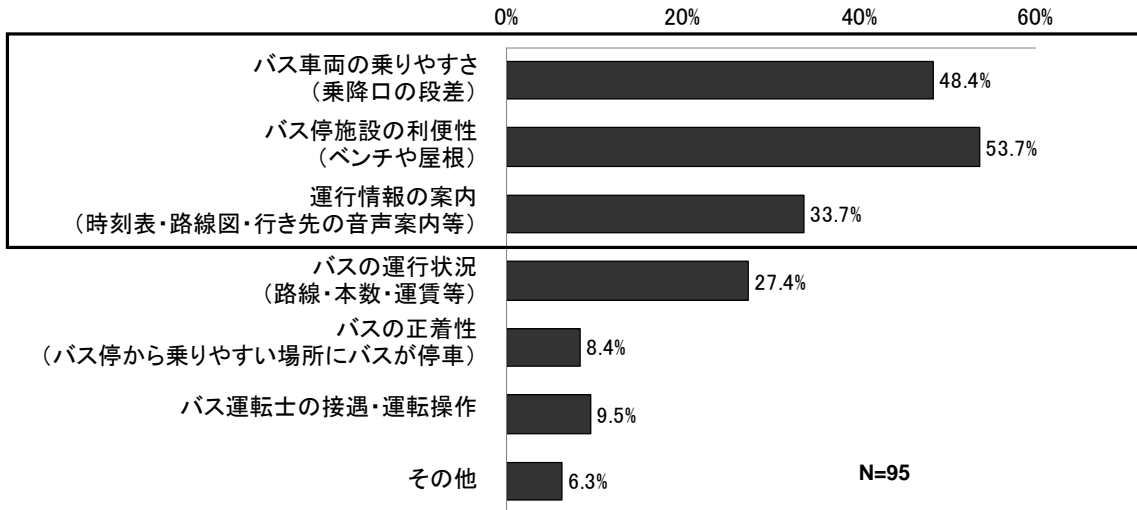


図 3-5 バス利用時の改善要望

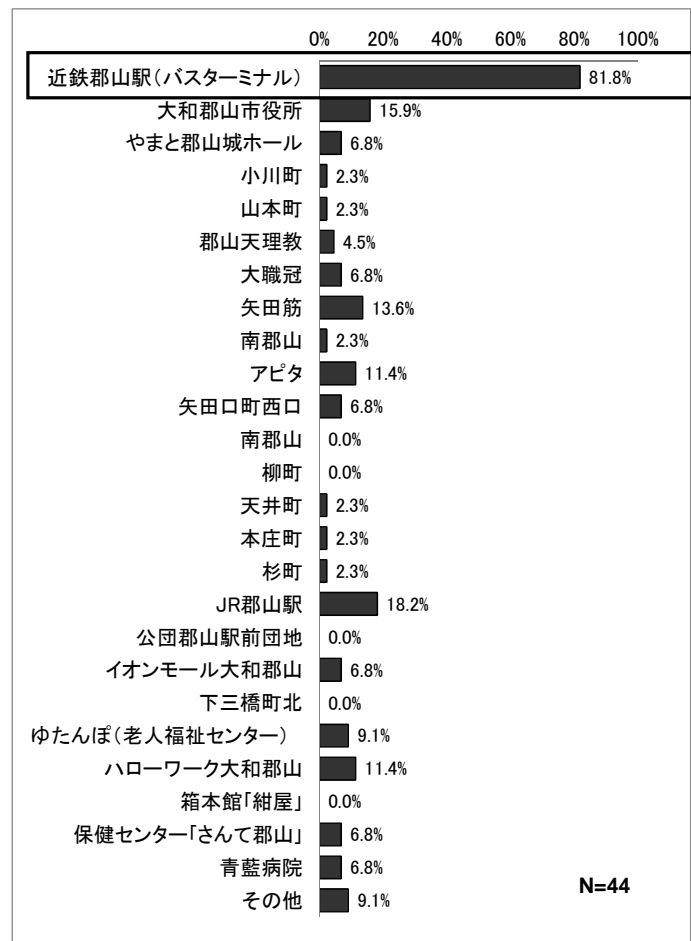


図 3-6 バリアフリー化を要望するバス停

〈タクシー〉

- ・ 誰もがタクシーを利用しやすくするための改善方策について、47 の意見をいただきました。

■意見の内容

- 「乗務員のマナーやサービスの向上」(意見数：15)
- 「タクシー料金の見直し・割引サービス」(意見数：10)
- 「近鉄郡山駅周辺の改善」(意見数：7)
- 「事業者のサービス向上」(意見数：6)
- 「タクシー乗り場の改善」(意見数：5)
- 「バリアフリーに配慮した車両の導入」(意見数：4)

〈経路〉

- ・ 大和郡山上三橋線が、最も利用者が多く、またバリアフリー化要望の高い路線でした。特に、近鉄郡山駅から JR 郡山駅間の要望が高くなっています。
- ・ 次いで三の丸線も利用者が多く、バリアフリー要望が比較的高い路線となっています。

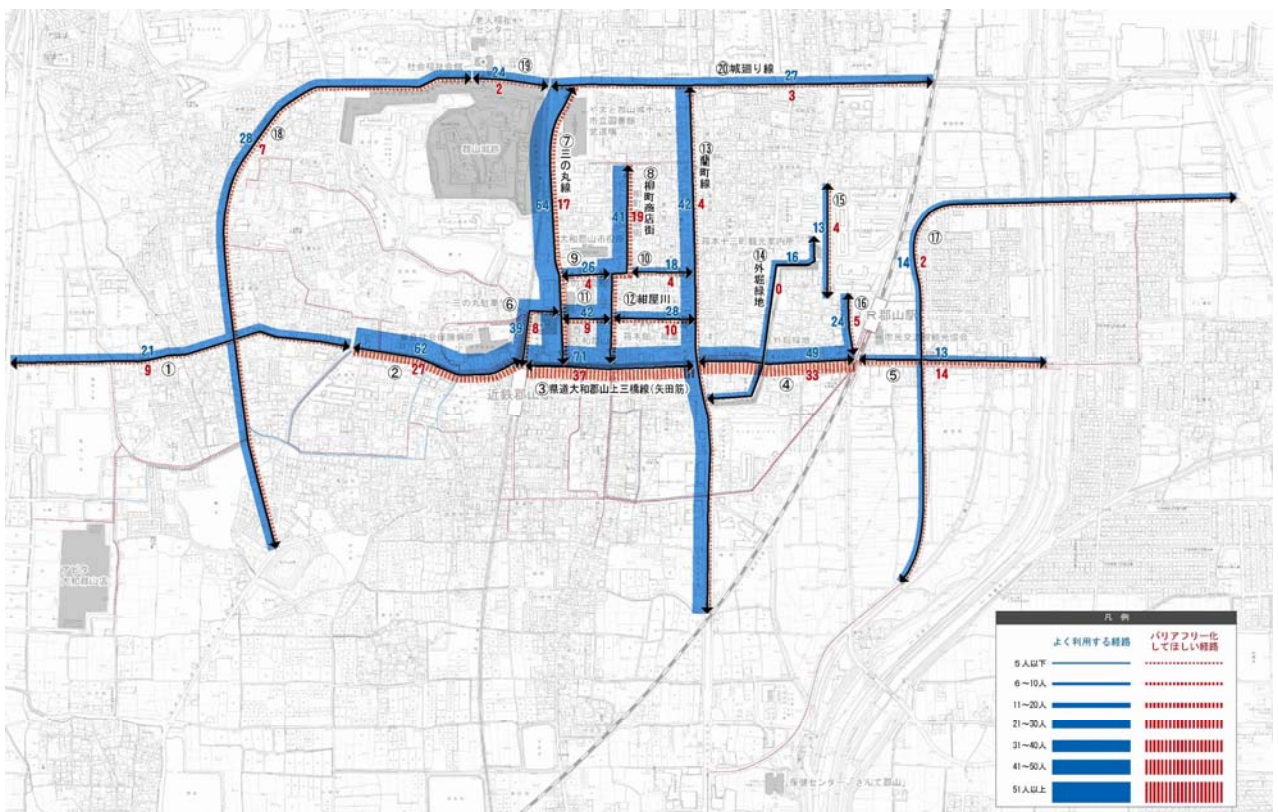


図 3-7 よく利用する経路・バリアフリー化してほしい経路

〈施設〉

- ・ バリアフリー化を要望する施設として最も多いのが「大和郡山市役所」で、次いで「三の丸駐車場」と「西友大和郡山店」が続きます。
- ・ 各施設では、出入口やトイレの整備が求められています。

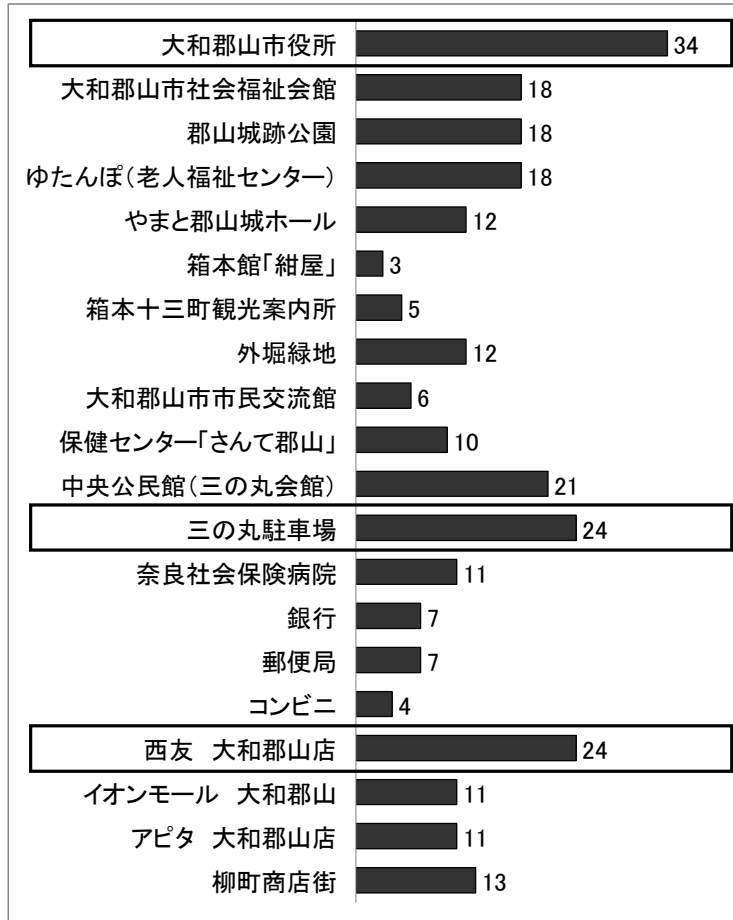


図 3-8 バリアフリー整備を要望する施設

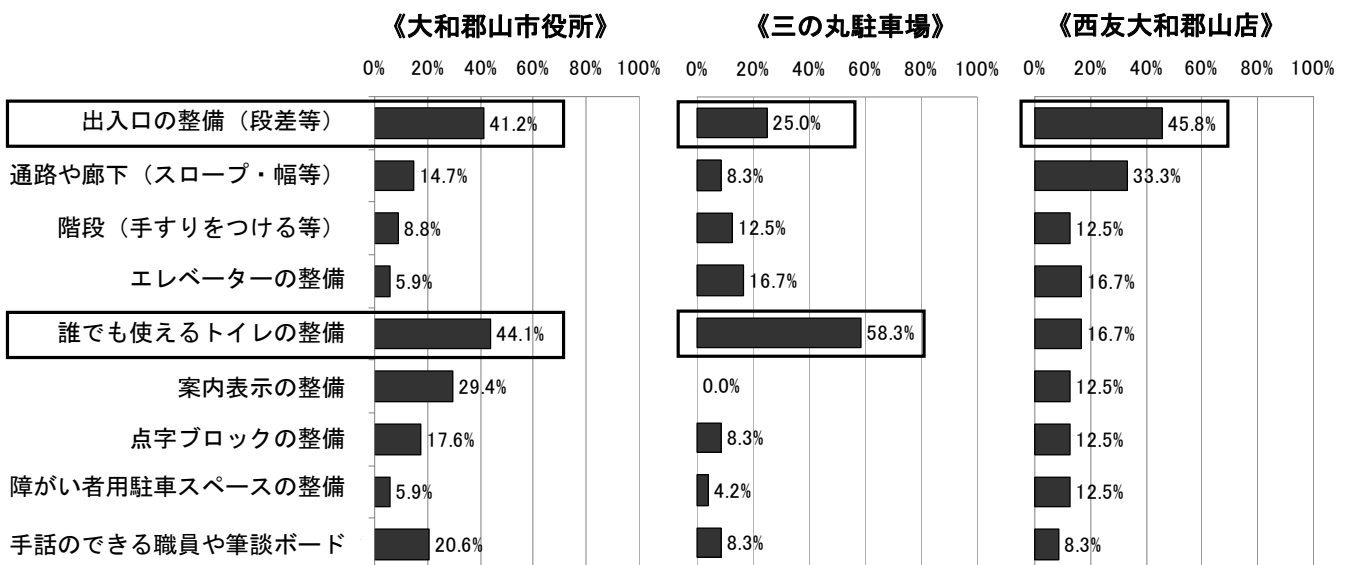


図 3-9 施設の改善要望

〈心のバリアフリー〉

- ・ 利用者の理解不足の状況では、「歩道を走行するルールやマナーを守らない自転車」が 64.1%と最も多く、「点字ブロックの上に自転車や看板などを放置」が 43.7%と続き、自転車の不適切な利用が移動のバリアになっていることが想定されます。
- ・ 「一般車両の車いす用駐車スペースへの駐車」も 43.0%と高い結果となりました。

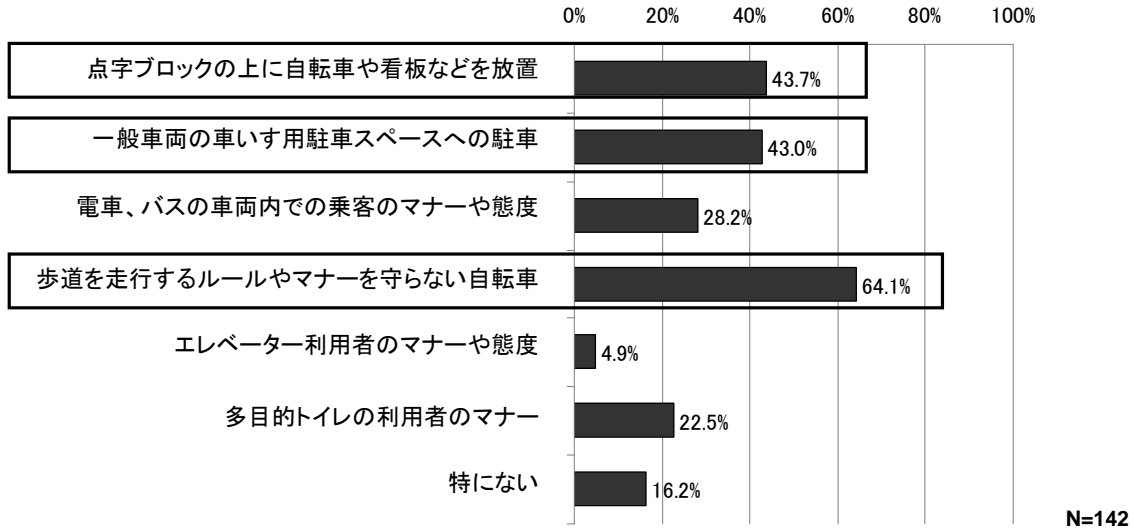


図 3-10 利用者の理解不足の状況

- ・ 「心のバリアフリー」推進に向けて実施が適切と思われる取り組みは、「市内のバリアフリーの状況をまとめたマップの作成・配布」が 33.5%と最も高く、次いで「学校教育でのバリアフリー学習メニューの導入」 29.2%、「バリアフリーに対する啓発や PR 活動」 27.3%、「バリアフリー整備に当事者の意見を反映するしくみ」 25.5%となっています。

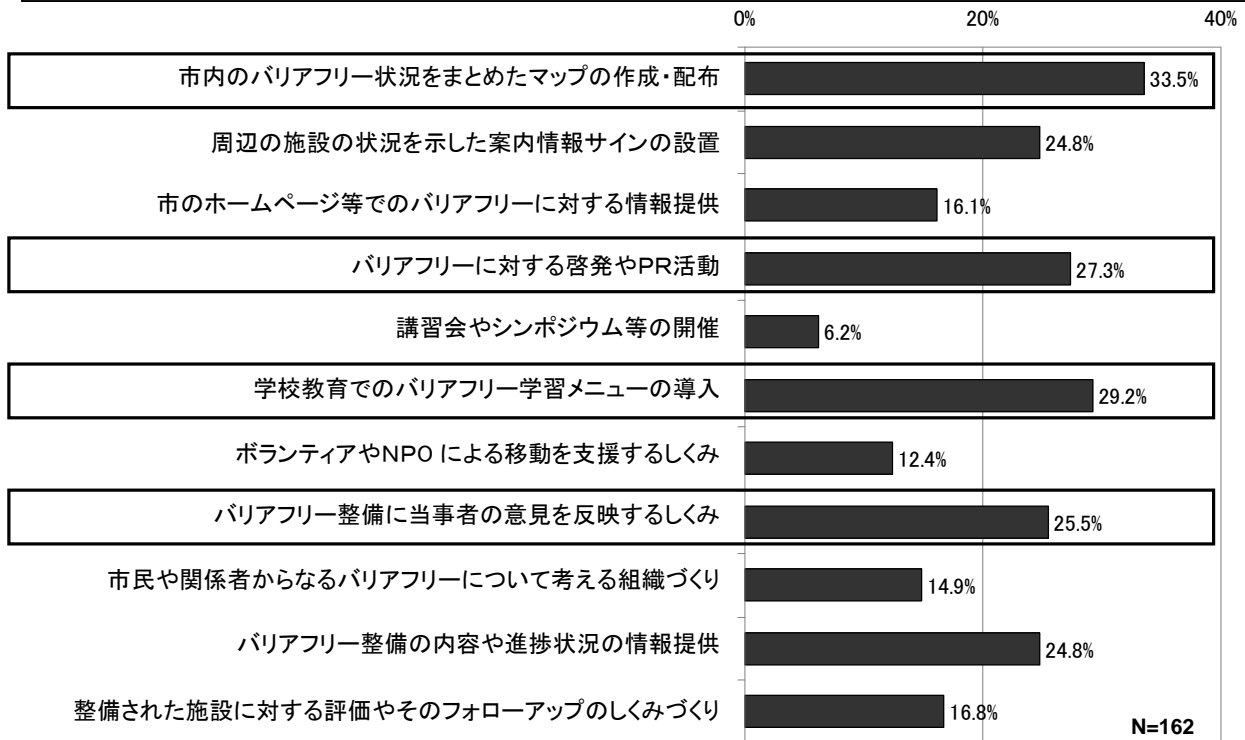


図 3-11 「心のバリアフリー」推進へ向けて実施が適切と思われる取り組み

3) 地区内の主な課題や問題点

ヒアリング調査、ワークショップ、タウンウォッチング等から得られたJR・近鉄郡山駅周辺の主な課題や問題点について、以下に示します。

〈鉄道駅〉

【駅共通】

○案内・情報提供

- ・ 電光掲示板等の文字案内をしてほしい。
- ・ ひらがなや大きい字の表示、案内を増やしてほしい。
- ・ 近鉄・JRのホームの情報案内が不足している。
- ・ 聴覚障害者は事故などの非常時の情報が入手しにくい。

【近鉄郡山駅】

○移動円滑化された経路

- ・ 東側改札出口にはスロープが一つしかないので、階段を改善してほしい。
- ・ 駅構内の下りホームのスロープ。以前設置してあった誘導ブロックがなくなったので、視覚障害者のために何らかの誘導対策をしてほしい。
- ・ 駅構内の下りホームのスロープはガタガタしている。もう少し緩やかにしてほしい。

○ホーム

- ・ 視覚障害者はホームから転落の危険がある。
- ・ ホーム上に柱が多い。

○トイレ

- ・ トイレが片方のホームにしかないので両方のホームにほしい。
- ・ 反対側のホームにいてもトイレが利用しやすいようにトイレの位置をかえてほしい。
- ・ 大人のオムツも換えられるような多目的シートを設置してほしい。
- ・ 車いす用トイレは広くて良い。

○案内・情報提供

- ・ 音声情報だけでなく、聴覚障害者に配慮した文字情報等の案内を充実してほしい。
(例：駅構内で線路を横断する踏切が音声のみ・券売機で切符をとり忘れても音声でしか案内がない・電車の遅延理由がわからない)
- ・ プリペイドカードを買える券売機にも点字表示をしてほしい。

○介助・接遇

- ・ 駅員と手話でコミュニケーションがとれない。
- ・ 駅員の方がトイレの中まで案内してくれるが、男性のため頼みにくい時がある。



写真 3-1 東改札出口付近スロープの調査状況



写真 3-2 下りホームスロープ調査状況



写真 3-3 ホームの状況



写真 3-4 トイレの調査状況

【JR 郡山駅】

○ホーム

- ・ 視覚障害者はホームから転落の危険がある。
- ・ エレベーターが設置されたため、電光表示板が見えにくい場所がある。

○トイレ

- ・ 大人のオムツも換えられるような多目的シートを設置してほしい。
- ・ JR 郡山駅のトイレのトイレットペーパーの位置が悪く、届きにくい。(改善済み)

○案内・情報提供

- ・ 音声情報だけでなく、聴覚障害者に配慮した文字情報の案内を充実してほしい。(例：エレベーターが非常停止した際・電車の遅延理由がわからない)



写真 3-5 ホームの状況



写真 3-6 意見をふまえて改善済

〈駅周辺〉

【近鉄郡山駅周辺】

- ・ 近鉄駅前道路が狭く、交通量も多く、障害者だけでなく子供連れも危険。病院や買い物目的の人が多い。
- ・ 非常に危険なので抜本的な整備をしてほしい。



写真 3-7 近鉄郡山駅周辺の状況

【JR 郡山駅周辺】

- ・ 駅西側の歩道から駅前広場の連続性を確保してほしい。
- ・ きれいに整備されて良くなった。
- ・ JR 郡山駅の駅前広場の車道と歩道の間にはスロープがあるが、スロープ前に車が停車しており、スロープを利用できないことがある。



写真 3-8 駅西側付近の調査状況



写真 3-9 駅前広場東側の状況

〈バス〉

○車両

- ・ バスのステップを低くしてほしい。
- ・ ステップの高いバスがあり乗りにくい。
- ・ バスの車内でも電光掲示板を設置して文字情報を提供してはどうか。

○バスターミナル

- ・ バスターミナルを整備してほしい。
- ・ バスに乗降しにくい。
- ・ バスが指定の場所にとまらない時がある。
- ・ 通路の幅が狭い。
- ・ ベンチ等の待てる空間が少ない。
- ・ ベンチがあるため通路がせまい箇所がある。
- ・ どの乗り場に行けばよいかわかりにくい。
- ・ 近鉄駅からのアクセスが悪い。初めてきた人がよく迷っている。



写真 3-10 バスターミナルの調査状況

○案内・情報提供

- ・ ノンステップバスがいつ来るのかわからない。
- ・ わかりやすい案内（路線図・時刻表・料金表）にしてほしい。
- ・ バスロケーションシステムを導入してほしい。

○介助・接遇

- ・ バスが本来の場所に停車しないと、視覚障害者は乗車できない。
- ・ 運転手や他の乗客に気を使って車いすでは利用しにくい。
- ・ バスがバス停の近くに停車しない時がある。



写真 3-11 バスの正着状況

○運行等

- ・ 本数や路線を増やしてほしい。
- ・ 自家用車が利用できなくなった時には重要な交通手段。

〈案内表示〉

- ・ 視覚障害者に配慮した音声案内（視覚障害者誘導システム等）や聴覚障害者に配慮した情報提供（聴覚障害者用情報受信装置等）を充実してほしい。
- ・ 知的障害者や子どもに配慮して、サインにひらがな表記を行ってほしい。
- ・ 近鉄郡山駅からバスターミナルへの案内が不十分で来訪者が迷っている。
- ・ 手話のできる職員を増やしてほしい。
- ・ 障害の特性を理解して対応してほしい。
- ・ 緊急時や異常時の情報提供を充実してほしい。



写真 3-12 地区内に設置された案内サインの状況

〈施設〉

【大和郡山市役所】

○移動円滑化された経路

- ・ 玄関前の視覚障害者誘導用ブロックが適切ではなく、一人では移動できない。
- ・ 警告用の看板が障害物になっている。
- ・ 玄関から歩道までの経路が、歩行者と自動車が交錯し危険。

○エレベーター

- ・ エレベーターに音声案内や点字表示をつけてほしい。
- ・ 手すりや呼び出しボタンの位置が高い。
- ・ エレベーターかご内の奥行がせまい。
- ・ エレベーターが非常停止した際に、聴覚障害者に配慮した非常ボタンを設置してほしい。

○トイレ

- ・ トイレに多目的シートを設置してほしい。
- ・ 一般トイレに洋式を増やしてほしい。
- ・ トイレに音声案内や点字表示をつけてほしい。

○案内・情報提供

- ・ 音声案内（視覚障害者誘導システム等）や文字情報（聴覚障害者情報受信装置等）を導入してほしい。
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックが適切に設置されていないところがある。
- ・ 障害者（視覚・聴覚・知的等）に配慮した案内をしてほしい。



写真 3-13 出入り口付近の調査状況



写真 3-14 経路の調査状況

【大和郡山市社会福祉会館】

○エレベーター

- ・ エレベーターに音声案内や点字表示をつけてほしい。
- ・ エレベーターかご内の奥行がせまい。
- ・ エレベーターが非常停止した際に、聴覚障害者に配慮した非常ボタンを設置してほしい。

○トイレ

- ・ トイレに多目的シートを設置してほしい。
- ・ 車いす用トイレを使いやすくしてほしい。
- ・ 多目的トイレの照明を自動で点灯するようにしてほしい。
- ・ 一般トイレに洋式を増やしてほしい。

○案内・情報提供

- ・ 視覚障害者誘導システムや聴覚障害者情報受信装置等を導入してほしい。
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックが適切に設置されていないところがある。
- ・ 障害者（視覚・聴覚・知的等）に配慮した案内をしてほしい。

○その他

- ・ 施設内の照明が全体的に暗い。
- ・ 現在の立地は場所が悪い。駅の近くの利便性の高い場所に移設してほしい。



写真 3-15 エレベーターの調査状況



写真 3-16 多目的トイレの調査状況

【三の丸駐車場】

○身障者用駐車マス

- ・ 出入口近くにあるため、後続車に気を使う。
- ・ 利用しようと思ったら、ポールが設置してあった。
- ・ 駐車マスが狭い。(改善済)
- ・ エレベーターから遠い。
- ・ 事前に係員に車いす利用者であることを伝えると、誘導、交通整理をしてくれた。
- ・ 全体的に傾斜しているため一人で移動するとき車いすが流されてこわい。

○トイレ

- ・ トイレの案内がわかりにくい。トイレがあることを知らなかった。
- ・ 薄暗くて少し怖い。

○案内・情報提供

- ・ 駐車場の料金支払い機で、機械のトラブルがあっても、音声のみの情報であるので聴覚障害者はわからない。文字情報でも教えてほしい。



写真 3-17 身障者用駐車マスの調査状況



写真 3-18 車いすでの利用状況

【西友大和郡山店】

○エレベーター

- ・ エレベーターに乗る経路の途中に、開閉式のドアがあり、重くて利用できない。
- ・ エレベーターに音声案内や点字表示をつけてほしい。
- ・ 店内にエレベーターの場所がわかる案内板を設置してほしい。

○放置自転車

- ・ 西友前に放置自転車が多い。
- ・ 自転車置き場が有料のため、きちんととめていない人もいる。



写真 3-19 エレベーターの調査状況



写真 3-20 店舗前の駐輪状況

〈歩道〉

【歩道全般】

- ・ 歩道がない道路が多く危険である。歩行者が安全に移動できるようにしてほしい。
- ・ 歩道の幅員が狭い、幅が連続していないといった区間があり車いす、ベビーカー等での移動が困難。
- ・ 歩道にデコボコや段差が多い。
- ・ 歩道が波打っている。
- ・ 歩道の横断勾配がきつい。
- ・ 坂道が急な区間がある。
- ・ ガタガタして歩きにくい舗装がある。白杖で視覚障害者誘導用ブロックとの区別がつかない。
- ・ 歩道上の障害物（電柱、車止め、放置自転車、看板等）に衝突する危険がある。
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックがない。あっても適切に設置されていない。
- ・ 視覚障害者が歩道と車道の境目がわかるように、わずかで良いので段差をつけてほしい。
- ・ 自転車でどこを走ったらよいのかわからない。
- ・ スピードを出す自転車がこわい。歩行者と自転車を分離してほしい。
- ・ 幅のあるグレーチングだと隙間に白杖がはまってしまうことがある。
- ・ 側溝には蓋をつけてほしい。

【大和郡山上三橋線】

- ・ 幅が狭く、自動車、自転車、歩行者が混在し、危険で歩くことができない。
- ・ 溝があるので、車をよける時にこわい。蓋をつけてほしい。
- ・ 柵をつける等で歩行空間を確保してほしい。
- ・ 視覚障害者が電柱等に衝突しないように配慮してほしい。



写真 3-21 大和郡山上三橋線の調査状況(1)



写真 3-22 大和郡山上三橋線の調査状況(2)

【奈良大和郡山斑鳩線】

- ・ 坂道なので自転車がこわい。（南側歩道）
- ・ 雨の日に緑色の舗装が滑りやすい。（南側歩道）
- ・ 北側の歩道が狭い。グレーチングが歩きにくい。
- ・ 踏切があり自動車が渋滞することが多い。



写真 3-23 奈良大和郡山斑鳩線の調査状況
(南側歩道)



写真 3-24 奈良大和郡山斑鳩線の調査状況
(北側歩道)

【近鉄三の丸線・三の丸線】

- ・ 歩道がガタガタしている。
- ・ 歩道と車道間に段差がある。
- ・ 幅員が狭い区間がある。
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックが老朽化している。
- ・ 西友から南側の区間が、段差やデコボコが多い。
- ・ 西友北側の横断歩道が、東側によっているため、視覚障害者は位置を見失ってしまう。



写真 3-25 近鉄三の丸線の調査状況(1)



写真 3-26 近鉄三の丸線の調査状況(2)



写真 3-27 三の丸線の調査状況(1)



写真 3-28 三の丸線の調査状況(2)

【三の丸2号線】

- ・ 歩道が波打っている。
- ・ 歩道の幅員が狭い区間がある。



写真 3-29 三の丸2号線の状況

【三の丸今井材木線】

- ・ 市役所前の歩道が狭い。
- ・ 市役所から駅方面への連続性がよくない。
横断歩道を設置してはどうか？



写真 3-30 三の丸今井材木線の調査状況

【紺屋東西北線・紺屋東西南線】

- ・ 視覚障害者は川への転落の危険がある。
- ・ 夜間が危険である。
- ・ 車がたくさん通って危ない。
- ・ 大和郡山市のシンボルである。



写真 3-31 紺屋川沿いの調査状況

【城廻り線(外堀緑地北門から JR 郡山駅方面)】

- ・ 車止めがあり視覚障害者はよくぶつかってしまう。
- ・ 歩道がガタガタしている。
- ・ 歩道と車道間に段差がある。
- ・ 点字ブロックがない。



写真 3-32 城廻り線の調査状況(1)



写真 3-33 城廻り線の調査状況(2)

【新紺屋豆腐藺本線・大和郡山広陵線】

- ・ 整備されてよくなったが、視覚障害者は車止め用のポールにぶつかってしまう。
- ・ スピードを出して走行する自転車がかわい。



写真 3-34 大和郡山広陵線



写真 3-35 新紺屋豆腐藺本線

【踏切】

○近鉄郡山駅北側（九条第 12 号踏切）

- ・ 踏切に自動車、自転車、歩行者が集中して横断するのがこわい。
- ・ 踏切がデコボコしていて古いので、他の踏切のように整備してほしい。
- ・ 視覚障害者は踏切から線路に落ちそうになる。

○城ホール方面から郡山高校方面（九条第 10 号踏切）

- ・ 踏切がデコボコしていて、車イス用の車両は車高が低いため、底をすってしまう。



写真 3-36 九条第 12 号踏切の調査状況



写真 3-37 九条第 10 号踏切の調査状況

〈信号・交差点〉

○信号・交差点全般

- ・ 音響信号は、渡りにくいところに設置してほしい。
- ・ 視覚障害者が歩道と横断歩道の境界がわかるようにしてほしい。
- ・ 耳が不自由だと信号のない交差点の横断がこわい。
- ・ 信号の色が見えにくい箇所がある。
- ・ 信号の待ち時間を表示してほしい。

○信号の改善

- ・ 新紺屋町交差点を音響信号にしてほしい。
- ・ 市役所東側の信号の青信号の時間を延長してほしい。

○信号設置の要望

- ・ 城ホール北側の横断歩道、城ホール西側の横断歩道、箱本館東側の横断歩道、JR 西側りそな銀行前の横断歩道 等



写真 3-38 市役所前交差点の調査状況



写真 3-39 横断歩道(城ホール北側)の調査状況



写真 3-40 横断歩道(JR 郡山駅西)の調査状況

〈公園〉

【外堀緑地】

- ・ 北門にバイク等の進入防止の車止めがあり、車いすが通りにくい。しかし、撤去するとバイクの進入が危惧される。
- ・ 橋の横に車いすやベビーカーが通りやすい通路を設けてはどうか。
- ・ 夜間の照明が暗い。



写真 3-41 外堀緑地の調査状況

〈心のバリアフリー〉

- ・ 障害の特性に応じたコミュニケーションの方法を周知してほしい。
- ・ 歩道の移動が困難なため自動車を利用する障害者も多い。
- ・ 障害者にもわかりやすい案内を充実してほしい。(音声対応、文字情報等)
- ・ バス停に点字の時刻表があることを知らなかった。バリアフリーの取り組みを障害者にも周知してほしい。
- ・ 障害者やバリアフリーに対する理解を深めてほしい。
- ・ スピードを出して走る自転車がこわい。
- ・ 放置自転車が白杖にぶつかる。
- ・ 身障者用駐車マスに一般車が駐車している。
- ・ 身障者用駐車マスにコーンが設置されていて、利用しにくい。
- ・ 子どもに対するバリアフリー教育が重要。
- ・ 公共交通の介助、接遇スキルの向上をお願いしたい。
- ・ 手話のできる職員の配置等をお願いしたい。
- ・ バリアフリー整備時には完成してから意見を求めるのではなく、修正のきく段階で当事者の意見を聞いてほしい。

3-3 移動等円滑化の基本的考え方

(1) 基本理念

人が集い、人が暮らし続けるバリアフリーなまちづくり

～安全・安心、快適な移動の確保をめざして～

大和郡山市に多くの人が集まり、すべての人が安全に安心して、快適に暮らせる活気のあるまち、互いに助け合う心配りのあるまちを創るため、市民・事業者・行政が互いに協働して、ハード面とソフト面の取り組みをバランスよく推進していきます。

●まちの整備の方向性（ハード面）

本市においては人口減少社会を見据え、地域の個性である豊かな自然環境や歴史・文化などを十分に活かし、「平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町」の指標のとおり、市民がお互いの人権を尊重し合い、共通の誇りを持ち、心豊かに暮らすまちをめざしています。そのため、魅力ある市街地を形成し、にぎわい、活力ある都市づくりを進めるため、誰もが共に平等に、安全・安心・快適で自立した社会生活が送れ、まちの魅力が高まるようにバリアフリー化を推進します。特にバリアフリー新法の趣旨に則り、移動に関わる旅客施設、車両、歩行空間、公園、建築物等についての整備を、重点的かつ一体的に行います。なお整備にあたっては、平常時の昼間だけでなく、夜間や悪天候時も含め、様々な状況を考慮したきめ細やかなバリアフリーを検討します。

●心のバリアフリーの方向性（ソフト面）

市民一人ひとりがバリアフリーについての理解を深め、互いに助け合う心配りのあるまち、来訪者へのおもてなし精神あふれるまちを実現するため、啓発、教育、人的支援等の取り組みを継続的に行います。

●進め方（実施体制）

協働のまちづくりを推進するため、市民・事業者・行政が互いに協働しながら、横断的な連携を十分に図りつつ、バリアフリーを推進していきます。

(2) 基本方針

方針 1：生活関連施設等のユニバーサルデザイン化

生活関連施設等において年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの考え方に基づいた施設づくりに取り組みます

方針 2：安全・安心、快適に移動できる空間の確保

誰もが安全に安心して歩くことができる歩行者の移動の安全性向上のため、歩道の改修、信号や視覚障害者誘導用ブロックの整備に取り組みます。歩道の未整備区間については、道路幅員や周辺環境を考慮し、歩車共存の道路空間づくりを進めます。

方針 3：交通環境の利便性の向上

鉄道やバスの公共交通機関において、誰もが安心して利用できる交通環境の整備を進めます。

方針 4：誰もがわかりやすいまちづくり

初めて大和郡山市を訪問する来訪者も含め、誰もがわかりやすい案内表示の設置や情報提供・発信等を図ります。

方針 5：心のバリアフリー推進のまちづくり

どんなにハード整備が進んでも、利用者の配慮の有無で、十分に活用されない事もあります。市民一人ひとりが互いに尊重し、譲り合い、助け合う心を育て、バリアフリーのまちづくりをめざします。

*ユニバーサルデザイン：バリアフリーは、障害によりもたらされるバリア(障壁)に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。(障害者基本計画：平成 14 年 12 月)

(3) 整備の方針

方針 1：生活関連施設等のユニバーサルデザイン化

[全体]

- ・ トイレの利便性向上（多目的シート・洋式トイレ等）
- ・ 歩道と出入口部の連続性の確保
- ・ 障害者等にも配慮した駐車場の整備、改善
- ・ 案内・情報提供の充実（音声案内・文字案内・手話等含む）
- ・ 非常時の情報提供方策の検討（特に聴覚障害者）

[駅舎]

- ・ 移動円滑化された経路の改善
- ・ ホームの安全性の向上
- ・ トイレ等の駅施設の改善

[市役所]

- ・ 歩道と出入口部の連続性の確保

[社会福祉会館]

- ・ トイレ、エレベーター等の改善

[三の丸駐車場]

- ・ 車いす用駐車マスの改善

[商業施設等]

- ・ バリアフリーな出入口への改善

方針 2：安全・安心、快適に移動できる空間の確保

[道路]

- ・ 溝蓋の改修
- ・ 舗装不良箇所の修繕
- ・ ポールや電柱等の見直し
- ・ 歩行者と自動車の共存方策の検討
- ・ 夜間、悪天候時にも配慮したきめ細やかな整備

[歩道]

- ・ 視覚障害者誘導用ブロックの新設、改修
- ・ デコボコや段差のある歩道の改修
- ・ 歩きやすさや雨天時を考慮した路面舗装への改修

[交通施設]

- ・ 安全に横断できる交差点への改良

方針 3：交通環境の利便性の向上

[バスターミナル]

- ・ 利用しやすいバスターミナルへの改善
- ・ 駅とバスの乗り継ぎのしやすさの向上（案内の改善等）
- ・ わかりやすい情報、案内方策の検討

[近鉄郡山駅周辺]

- ・ 駅周辺の安全性確保方策の検討

[車両]

- ・ バリアフリー車両の導入

方針 4：誰もがわかりやすいまちづくり

- ・ すべての人にわかりやすいサイン（ひらがな併記等）の整備の検討
- ・ 点字、音声、文字案内の充実や、移動支援のための環境づくり等、障害者等に配慮した案内の検討

方針 5：心のバリアフリー推進のまちづくり

- ・ バリアフリーに関連した啓発活動（自転車、車いす用駐車スペースの利用マナー）
- ・ バリアフリー教育の推進（学校教育でのバリアフリー学習メニューの導入等）
- ・ 市民、事業者、行政が協働するしくみづくり
- ・ バリアフリー整備の内容や進捗状況の情報提供（バリアフリーマップの作成・配布等）
- ・ 整備に対する評価やそのフォローアップ（当事者の意見を反映するしくみ）